

人文学研究科 臨床心理学専攻 カリキュラム・マップ

人間理解の広い視野と確実な学識に裏付けられた実践能力の高い心理臨床専門家

ディプロマポリシー

DP1 個人や社会に生じる様々な問題の理解と解決に役立つ、高度な心理学の知識と技能を身につけている	DP2 専門的な臨床心理学の知識と技能に基づき、対象者を見立て、支援計画を提案できる	DP4 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる
	DP3 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる	DP5 臨床心理学の専門的知識を生かし、専門職業人として活躍するために学び続ける態度を身につけている

2年	後期	心理学実践演習Ⅱ						
	前期							
1・2年	後期	学校臨床心理学特論 犯罪心理学特論 産業心理学特論 健康心理学特論 障がい者(児)心理学特論 リハビリテーション心理学特論 臨床心理関係行政論						
	前期	発達心理学特論 社会心理学特論 家族心理学特論 人格心理学特論 心理療法特論 臨床精神病理学特論						
	後期	臨床動作法特論						
	前期	臨床催眠学特論						
1年	後期	臨床心理査定演習Ⅱ	投映法特論					
	前期	臨床心理学面接特論Ⅱ						
	後期	臨床心理学面接特論Ⅰ 臨床心理学研究法特論						
	前期							
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性	態度

カリキュラム・ポリシー

CP1 心理学分野の講義・演習・実習科目を設置し、それぞれの分野での知識と研究能力の向上を図る
CP2 心理学の専門科目を配置するとともに修士学位論文の作成を指導する
CP3 参加型の学習を通して、臨床心理分野における今日的な課題や事象についての討論・研究発表能力の向上を図る
CP4 実習科目の履修を通して、臨床心理学に関わる高度な専門的職業人を養成し、地域社会の発展に貢献する

アドミッション・ポリシー

AP1 臨床心理学の学部教育を基礎として、高度な専門知識や技術を身につけ、社会に貢献したい人
AP2 人の行動や心に関する明確な問題意識を持ち、対人支援に積極的に取り組み、かつ学び続ける意欲のある人
AP3 「公認心理師」ならびに/または（公財）日本臨床心理士認定協会の認定する「臨床心理士」の受験資格の取得を希望する人